

第52回山形県空手道選手権大会実施要項

- 1) 主催 山形県空手道連盟
- 2) 共催 山形県高等学校体育連盟
- 3) 後援 山形県教育委員会 (公財)山形県体育協会 南陽市教育委員会 報道機関各社
(後援申請中)
- 4) 主管 南陽高校空手道部、誠道塾、遠藤道場、鷹武館、鷹空会
- 5) 日時 令和元年9月22日(日)
開場 午前8時00分 審判会議 午前8時30分
監督会議 午前8時45分 開式行事 午前9時
競技開始 午前9時30分 競技終了 午後3時予定
開式行事終了後ただちに「第48回山形県社会人空手道選手権大会」を行う
- 6) 会場 南陽高校体育館 南陽市宮内4600 TEL0238-47-7401
- 7) 競技規定 (公財)全日本空手道連盟組手競技規定、形競技規定による。細部は山形県空手道連盟
競技運営申合せ事項による。
- 8) 審判員 山形県空手道連盟に登録している(公財)全日本空手道連盟公認審判員とする。
- 9) 出場資格 【成年】山形県空手道連盟加盟団体の会員で、(公財)全日本空手道連盟会員登録済みであり、
次のいずれかによって所属していること。
① 居住地 ② 勤務地 ③ 学校教育法第1条に規定する学校の所在地
④ 卒業中学校または卒業高等学校のいずれかの所在地
【少年】山形県高等学校体育連盟空手道専門部に登録している生徒及び県内の高等学校に在学し、
山形県空手道連盟加盟団体に所属する会員で、(公財)全日本空手道連盟に会員登録
済みであること。又、在学高等学校長の出場許可を得た者とする。
- 10) 出場条件 出場選手及び監督は、スポーツ傷害保険か同等の補償のある保険に加入していること。

11) 競技種目

| | |
|--|--|
| 【成年男子団体組手競技】 ① 1チーム3名制とするが、3名に満たない場合は1名を他の団体から補充することができる。 但し、必ず2名は所属団体の選手であること。(過半数での出場可) ② 出場制限 1団体3チーム迄とする。 | |
| 【成年男子個人組手競技】 有段者Aの部 / (公財)全日本空手道連盟有段者であること。1団体6名以内 (全日本空手道選手権大会の選考会) ① 上記9)出場資格に該当する選手 ② 防具 以下に記する。WKFまたは(公財)全空連公認の検定品であること。 有段者Bの部・有級者の部 / 出場制限 1団体で6名以内 ① 出場については有段者Aに準ずる。 ② 防具 以下に記する。また、(公財)全空連公認の検定品であること。 | |
| 男子 有段者Aの部 | ア)マウスピース イ)赤・青拳サポーター ウ)ボディープロテクター エ)赤・青シンガード 赤・青インステップガード オ)セフティーカップ(男子のみ) |
| 有段者Bの部 有級者の部 | ア)ニューメンホー(VIまたは、VII) イ)赤・青拳サポーター ウ)ボディープロテクター エ)シンガード、インステップガード オ)セフティーカップ(男子のみ) |

| | |
|---|---|
| 【成年女子個人組手競技】 女子有段者Aの部 / (公財)全日本空手道連盟有段者であること。1団体6名以内 (全日本空手道選手権大会の選考会) ①上記9)出場資格に該当する選手 ②防具 以下に記す。WKFまたは(公財)全空連公認の検定品であること。 | |
| 女子Bの部 / 1団体6名以内 ①出場については有段者Aに準ずる。 ②有段者Aに準ずるが、有級者であっても出場可能とする。 ③防具 以下に記す。また、(公財)全空連公認の検定品であること。 | |
| 女子有段者Aの部 ア)マウスピース イ)赤・青 拳サポーター ウ)ボディープロテクター エ)赤・青シンガード 赤・青インステップガード | 女子Bの部 ア)ニューメンホー(VIまたは、VII) イ)赤・青 拳サポーター ウ)ボディープロテクター エ)シンガード、インステップガード |

| |
|--|
| 【少年男子並びに女子個人組手競技の注意点】 ①出場制限 1校及び1団体で各5名以内とする。 ②少年男子は有段者Aの部又は少年の部、どちらかを選択すること。 ③少年女子は有段者Aの部又は成年女子Bの部、どちらかを選択すること。(成年女子と混合) ④防具 ※公財)全空連公認の検定品であるか、高体連公認の検定品であること。 ア)ニューメンホー(VIまたは、VII) イ)赤・青 拳サポーター ウ)ボディープロテクター エ)シンガード、インステップガード オ)セーフティーカップ(男子のみ) |
|--|

| |
|--|
| 【少年男子団体組手競技】 ①山形県高等学校体育連盟空手道専門部の登録校及び県内の高等学校に在学し 山形県空手道連盟に加盟する所属団体の会員であること。 ②複数の高校在学生の混合チームは認めない。 ③出場制限 1チーム5名制とする。1チームは補欠部員を入れて7名登録できる。 ④防具 ※公財)全空連公認の検定品であるか、高体連公認の検定品であること。 |
|--|

| |
|--|
| 【少年女子団体組手競技】 ①山形県高等学校体育連盟空手道専門部の登録校及び県内の高等学校に在学し 山形県空手道連盟に加盟する所属団体の会員であること。 ②複数の高校在学生の混合チームは認めない。 ③出場制限 1チーム5名制とする。1チームは補欠部員を入れて7名登録できる。 ④防具 ※公財)全空連公認の検定品であるか、高体連公認の検定品であること。 |
|--|

| |
|---|
| 【男女個人形競技】 (公財)全日本空手道連盟有段者であること。 ①男女別に行う。 ②成年女子は少年女子と混合し競技を行う。 ③出場制限 1団体で男女各5名以内とする。 ④本年の国体形競技出場予定選手は、制限人数の枠外としシードとする。 |
|---|

12)競技方法

【組手競技】

・全種目トーナメント方式とし、3位決定戦は実施しない。

【形競技】

全種目個人戦とし、トーナメント方式により順位を決定する。3位決定戦は実施しない。
1回戦は第1指定形、2回戦は第2指定形とする。3回戦以降は得意形とし、同じ形を繰り返してもよい。
ただし参加人数が少ない場合は、回戦を問わず準決勝・決勝は得意形を演武する。

13)競技運営上の制限

- (1)競技場には選手・監督、競技役員・審判員・補助員以外は入場できない。
競技場の範囲は審判長が指定をする。
- (2)監督は空手道衣を着用し、監督の腕章をつけること。
ただし競技役員・審判員を兼ねている場合はその限りではない。
- (3)競技中は競技運営の妨げとなる言動を行ってはならない。

14)表彰

第3位まで表彰する。

15)負傷措置

参加選手は健康保険証を持参すること。
負傷者が出た場合は応急処置は行うが、それ以上の責任は負わない。
会場に休日当番医の掲示を行う。

16)参加費

申込書は下記大会事務局にExcelデータをメールで申込みすること。申込書は県連ホームページに掲載した申込み様式へ入力又は記載し申込みこと。
参加費は令和元年9月6日(金)までに下記郵便振替口座に振り込むこと。申込後の返金はしない。

ゆうちょ銀行 記号18550 番号25463661 口座名 鷹空会

- (1) 団体戦 少年 1チーム 3,500円 成年 1チーム 4,500円
(2) 個人戦 少年 1種目 2,000円 成年 1種目 3,000円

17)罰則規定

本要項に違反して出場の申込みや競技をした場合、大会役員の指示に従わなかった場合は出場を取消(失格を含む)、今後の出場に制限を科すことがある。

18)申込締切 参加申込書期限

令和元年8月27日(火)必着で下記大会事務局にメールで申込書を送付すること。
期限後の受付及び変更は一切受付をしない。
以上、期日厳守のこと。(※参加申込書と参加費の期限が違うので注意すること。)

19)大会事務局

〒992-0061 堀川町4-80 鈴木 健司
携帯 090-3363-8122
Eメール t.suzu.611@kif.biglobe.ne.jp

Eメールで申込みの際は、エクセル形式で送付して下さい。尚、申込み受領確認が出来次第、大会事務局より返信致します。

20)連絡事項

- ①大会役員・補助員の集合時刻を7時50分とする。当日会場準備とする。プログラムは当日配布する。
- ②競技進行に変更が発生した場合は場内放送で連絡する。
- ③団体のプラカードを持参すること。プラカードは白地のこと。
- ④高校生は引率者が同行すること。
- ⑤会場使用上の注意を守り、貴重品の管理は自己の責任で行い、ごみは各自持ち帰ること。
- ⑥忘れ物は、事務局まで連絡のこと。大会終了後1週間で処分する。